

-----7月30日-----

※ 今週のアウトルック (7/30~8/3)

先週の前半は下値を試しに行く動き、後半はレジスタンス確認後の戻り上がり、というような動きでした。

EU首脳のコロナウィルスを防ぐ決意？的発言のおかげで、市場には若干の安心感が広がっているようです。

今週もある程度この動きを継続するようには思います。週末に控えた米国雇用統計の結果如何では、大きく市場の期待を裏切る結果となってしまうかもしれません。

ドル円は78円のレジスタンスの厚さを確認後、若干戻してきています。しかし、週末に米国雇用統計を控えているため、このまま上昇トレンドに乗ることは難しいかもしれません。

雇用統計が期待通り、あるいはポジティブサプライズがあった場合には、79円から80円あたりまで上昇することも考えられますが、逆にネガティブ要因が出た場合は再び78円の下値トライとなる可能性もあるように思います。

状況的には78円から79円の狭いレンジで終始する可能性が高いように思います。

ドル円の予想レンジは78円から79.5円です。

ユーロはEU首脳の発言をキッカケに一時的な反発を見せています。このセンチメントがどの程度続くのかは、判断が難しいところですが、スペインの国債などの状況に再び危機感が大きくなれば、あっさりと崩れてしまう可能性も否定できないように思います。

何事もなく、週末の米国雇用統計でポジティブサプライズなどあれば、ユーロ円もリスクオンセンチメントの拡大に乗って上昇する可能性もあるかもしれません。

ただ、状況的には今週は材料探しに終始する可能性が高いように思います。

ユーロ円の予想レンジは95円から98円です。

ポンドは、ユーロが少し落ち着きを取り戻せば、すぐに反発の機会を伺うような動きです。

今週もユーロが落ち着いた動きを示せば、オリンピック開催の追い風に乗って、126円付近まで反発する可能性もあるように思います。

ポンド円の予想レンジは122円から126円です。

今週は、米国雇用統計の動向とユーロ圏の落ち着き具合に左右されそうです。ただ、夏休みに入っているトレーダーも多く、市場取引が薄くなっているようにも思います。突発的なサプライズで大きく動いてしまう可能性もあるので、注意が必要のように思います。

\*免責事項\*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。